

## 令和7年度第2回東大和市社会教育委員会議要録

### 1 会議日時

令和7年5月20日（火）午前10時から11時40分まで

### 2 会議場所

中央公民館視聴覚室

### 3 出席者

#### (1) 社会教育委員（7名）

池田議長、外池副議長、大島委員、杉本委員、才郷委員、森脇委員、半田委員

#### (2) 事務局（4名）

岡田教育長、廣瀬生涯学習課長、神山生涯学習課文化生涯学習担当係長、荻沢生涯学習課主事

### 4 欠席者（2名）

藤井委員、橋本委員

### 5 会議の公開・非公開

公開

### 6 傍聴者

1名

### 7 議題

(1) 令和7年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問書の受領及びその審議

(2) 研究テーマの検討

(3) その他

### 8 会議資料

(1) 資料1：東大和市社会教育委員名簿

(2) 資料2：東大和市自治会区域図

### 9 委嘱状交付

教育長から大島委員へ委嘱状が交付された。

## 10 議事内容

### (1) 令和7年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問書の受領及びその審議

#### ・教育長

議長へ令和7年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問書を交付した。

#### ・生涯学習課長

令和7年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問の具体的内容について説明した。

#### ・議長

令和7年度社会教育関係団体一覧から市P連が無くなったが、申請しないという認識で良いのか。

#### ・事務局

令和7年5月25日付けで解散する旨の連絡を受けているため、入っていない。

#### ・議長

新規に社会教育関係団体として申請するためには、誰に対して申請すれば良いか。

#### ・事務局

生涯学習課に相談してほしい。

#### ・議長

市P連の後継として、コミュニティスクールが連合体となれば当該補助金の申請ができるのではないかと。また、いつまでに相談すれば良いのか。

#### ・事務局

前年度3月に申請に係る説明会を開催するため、それ以前に相談をしてほしい。

#### ・議長

予算上大変と思うが、新規連合団体が加入できるよう公平な広報活動をするとともに、効果的な仕組みづくりを進めてほしい。

#### ・委員

新しい団体が入るために市P連が抜けた額があるが、少額である。

#### ・事務局

今年度予算編成時においては、市P連が解散することが決定していなかったため市P連分を含めていたが、来年度予算については検討する必要がある。

#### ・議長

ボーイスカウトが社会教育関係団体から抜けた際は、その分の予算を体育(スポーツ)協会が活用することとなった事例がある。

#### ・委員

今回は、決定事項に対して意見をするという形で良いのか。それとも、「審議」という言葉を使っていることから、仮に意見した場合修正が可能なのか。

#### ・議長

当会議として毎年、公平(団体として選ばれるようにするにはどうすれば良いか等)

に広報活動するよう提言している。

- ・委員

補助金申請に当たり各社会教育関係団体の総会資料について提出を求めていると思うが、今後はそうした資料も確認したい。

- ・委員

予算額以上で団体が申請をすることは可能か。

- ・事務局

可能ではあるが、補助決定額は予算上限内までとなる。

- ・議長

3月の説明会で、団体同士で調整する機会がある。

## (2) 研究テーマの検討

- ・事務局

資料2を用いて、当市における自治会区域図について説明した。

- ・議長

資料2にはマンション管理組合は記載されていないのか。

- ・事務局

資料2は自治会区域図となるため管理組合は入っていない。市民生活課が管理組合について所管しているため、必要に応じて確認する。

- ・委員

地域のお知らせを配る際に、自治会には配ったがマンションは除いたことがあった。

- ・議長

新しい委員もいらしたので検討テーマについて振り返る。身近な防災対策、誰でも幸せな、取りこぼされない東大和を作るため、どのようなまちづくりをするかを検討している。

- ・委員

ある市の総会で地域教育（コミュニティスクール）について講演があったが、どの地域でも活発になっている。小学校展示発表会に地域の方に出てもらえないか持ち掛けたところ、多くの地域の参加者があった。コミュニティスクールのコーディネーター支援が足りていないと感じる。

- ・委員

学校教員は異動（校長は長くて3年）があり、異動する度に一から地域との関係を構築する必要がある。教員の働き方改革の面から、教員の地域活動を強制することもできない。地域のための学校、顔の見える関係を築いていきたいが課題を感じている。空き教室の活動を進めたいが防犯対策も必要である。

- ・議長

コミュニティ作りをどうしていくかについて、世代ごとに考えたい。①若者、②引きこもり、③ご高齢の方、④外国人（言語の壁）、⑤ペット、⑥障がいのある方に分け、提言をまとめていく方針である。①については、コミュニティスクールの活用を盛り込め

るのではないか。

・委員

①について、ある市の事例にあった地域の大学生の小中学校への参画について、近隣の美術大学の学生を招き、連携した経験がある。

・委員

提言がただの調べ学習にならないようにしなくてはならない。現在の議論では、提言の対象が広すぎると感じる。学校は地域の中心の役割を果たしている。教師が全てを管理するのではなく、地域の人が学校に入って共に運営していくことが大切である。この段階で提言テーマを変えても良いのではないかと考える。「学校を中心にどうやってコミュニティを作っていくか。」はどうか。

・議長

コミュニティスクールは重要なテーマであり、過去の提言を考える際にも検討したことがあるが、現在においても学校単位で対応が異なっており、社会教育委員会議で提言するには課題が大きすぎると感じている。

・委員

今回の提言テーマの根幹は防災危機管理なのか。

・議長

多角的視点から安全安心を確保するためにはコミュニティが必要という視点が根幹にある。

・委員

防災対策なのか発災後の対策についてなのか。

・委員

防災は社会教育委員の範疇を超えているため、隣2～3軒の範囲（隣近所）での助け合いの重要性について提言できないか。最近住宅火災により亡くなる方が増えたと感じるが、コミュニケーションの希薄化が原因かもしれない。安全安心のため連絡網ができたら理想的である。連絡網の例として、詐欺電話の番号を地域に共有するだけでお役立ち情報として有益である。

・議長

詐欺は巧妙になっている。今では電話番号を意図的に改変し末尾を“0110”にして警察を装う詐欺が横行している。日々情報は更新していかないといけない。高齢者等の情報収集が困難な方にこうした情報を適宜共有することが大切である。

・委員

大きく防災について提言するのではなく、いかにして隣近所とのコミュニケーションを活性化させるかがテーマになるのではないか。

・副議長

東大和市に欠けていることやアピールできることを考えることがある。ある街へ行くと、この街は暖かいと感じる。東大和市はどうか。どうしてだろうかと考え、細かいことでも分析していくことが大切である。本日、この段階で概略がまとまっておらず心配である。何か根幹になるもの、それを軸に肉付けできるようにしていく必要がある。こ

の自治会区域図は平面的である。

- ・委員

具体的にその街のどこが暖かいのか？

- ・副議長

博物館の場所を優しく教えてくれた。

- ・議長

東大和市でも親切に教えてくれる。

- ・委員

地域のつながりの在り方、どうやってコミュニケーションを取れるか、そして親切な街になるかを考えていけば良いのではないかと。

- ・議長

防災防犯に拘らないでよい。あるイベントでは、コミュニティができていたため市外の方が多く来てくれた。

- ・委員

提言であるため、現状の報告になってはならない。現状から次の段階に進むためにはどうすべきか、また、誰に提言するのかを意識することが重要である。また、提言がどう活用されているのかも気になる。

- ・議長

過去の提言の活用については、市議会でも活用されたことがある。また、過去の提言の活用について、今回の提言の冒頭挨拶の部分でも触れる予定である。これまでの提言がどう活用されたか、どう発展していったかを載せたいので、事務局に調べてもらいたい。

- ・副議長

例年では、この時期は分担を決め執筆を開始する段階である。例えばペットを通じたコミュニケーションから書き始めても良い。そこから広がっていく。

- ・議長

多様な趣味から出てくるコミュニケーションの重要性を形にしていければ。

- ・委員

連絡網については、隣近所レベルとしたい。また、メインテーマを“誰もが幸せになれる地域づくり”としてはどうか。大きなテーマを掲げ、そこから各委員が調べていけばどうか。

- ・委員

本日の検討を踏まえた結果を議長にまとめてもらい、次回会議までに示してほしい。

- ・議長

了解した。

### (3) その他

- ・事務局

令和7年4月19日（土）に開催された令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協

議会定期総会について報告した。

・副議長

本日のまとめとして、令和7年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問について審議した。また、研究テーマの検討としては、提言テーマを「誰もが幸せになれる地域づくり」とし、このテーマを達成するために必要なことを各委員が調べ執筆していく方向性にまとまった。具体的な内容については議長が取りまとめ、次回会議までに報告することとなった。

・議長

本日の会議はこれで終了とする。次回開催日は、6/17（火）午前10時からで場所は、中央公民館視聴覚室である。

以上